

# 特定外来生物「アルゼンチンアリ」

## にご注意ください！

### 影響

○アルゼンチンアリとは・・・  
南米原産のアリです。  
日本では1993年に広島県で確認され、その後各地で確認されています。  
**毒性はありませんが、屋内に侵入し、食品に群がったりするだけではなく、機器類に侵入することで、故障を引き起こす事例もあり、不快害虫として、日常生活に支障をきたす可能性があります。**  
また、繁殖力が強く、在来のアリを駆逐するなど生態系への影響も大きいため、**防除が必要**です。

日本では、2005年に特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律により、**特定外来生物**に指定されています。

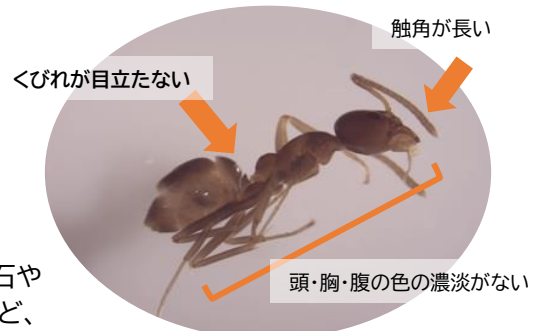
### 特徴

- ・体長:2.5mm程度
- ・在来アリと比べて、**非常に素早く動き回ります。**
- ・コンクリートの隙間・屋外の石や防草シート、植木鉢等の下など、あらゆる場所に営巣し、**行列を作ります。**
- ・遠目にみると黒色ですが、よく見ると褐色です。



【アルゼンチンアリの行列】

コンクリートの割れ目やプランター・石の下などの隙間を好みます



提供:(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所



提供:(国研)国立環境研究所  
家の中に侵入し、食べ物に群がります

## アルゼンチンアリの防除方法

アルゼンチンアリは他のアリと同様に**市販されている薬剤で駆除できます。**  
アリは巢外にいる個体を殺虫するだけでは効果がなく、**巣ごと殺虫することが大切です。**  
様々な種類の薬剤がありますが、**巣ごと駆除できるタイプの薬剤(バイト型薬剤など)**で有効成分「フィプロニル」が含まれる殺虫剤が特に効果的です。

### 薬剤による防除

#### バイト型薬剤(毒餌設置タイプ)

- ・壁や塀の際など、アルゼンチンアリの通り道になりそうな箇所に置く
- ・5～10mのほぼ等間隔に置く
- ・巣や行列の近くに置く
- ・雨天時の使用は避ける(効果が発揮できないため)



#### 液体タイプ薬剤

- ・アリの採餌活動が鈍る冬季など、バイト型薬剤が効果を発揮しにくい時期に有効
- ・巣の場所がわかる場合、巣に直接散布することで高い効果が得られる



### 薬剤以外による防除

- ・ビニールシート・ゴムマットなど撤去
- ・除草・枯葉の適切な処理
- ・侵入路となる隙間をなくす
- ・ゴミ収集場所の密閉性を高める
- ・小規模のコロニーで、女王アリを含む場合は直接アリに熱湯をかける方法も有効

